

第6期 みやぎ観光戦略プラン

実施計画

(令和7年度)

令和7年3月

宮城県

目次

第1章 基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	1
3 計画の構成.....	1
第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標	2
1 基本的な考え方	2
2 数値目標	2
3 観光成果指標.....	3
第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組	7
1 令和7年度の基本的方針.....	7
2 観光戦略プロジェクト	8
3 具体的な取組.....	19
第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業】	19
第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【市町村事業】	27

第1章 基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「第6期みやぎ観光戦略プラン実施計画」（以下「実施計画」という。）は、県が「第6期みやぎ観光戦略プラン」（以下「第6期プラン」という。）に掲げた将来像の実現や数値目標を達成するため、計画期間における具体的な取組内容を取りまとめたものです。

実施計画は、毎年度作成し、数値目標に対する達成状況、観光成果指標のモニタリングを行うとともに、これらを踏まえ、より実効性のある取り組みを検討し、事業化を図っていきます。

2 計画期間

第6期プランと連動させるため、令和7年4月から令和10年3月までの3年間を本計画の期間とします。

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
宮城の将来ビジョン 新・宮城の将来ビジョン	【宮城の将来ビジョン】 計画期間：H19～R2			【新・宮城の将来ビジョン】 計画期間：R3～R12						
新・宮城の将来ビジョン 【実施計画】				【前期】4年間 計画期間：R3～R6				【中期】3年間 計画期間：R7～R9		
みやぎ観光戦略プラン	【第4期】 計画期間：H30～R4.9			【第5期】 計画期間：R4.10～R6			【第6期】 計画期間：R7～R9			
みやぎ観光戦略プラン 【実施計画】			【回復戦略】 計画期間：R2.10～R4.9		【実施計画】 計画期間：R4.10～R6			【実施計画】 計画期間：R7～R9		

3 計画の構成

第1章 基本的な考え方

第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標

第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組

- 観光戦略プロジェクトの概要
- 具体的な取組
- 第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業・市町村事業】

第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標

1 基本的な考え方

本プランの推進に当たっては、第6期プランにおける「目指すべき姿」を実現するために、基本的な「数値目標」を設定するほか、プランに掲げる戦略を着実に実行していくために、「観光成果指標」を設定し、毎年度進捗状況の確認を行います。

本県観光の目指すべき姿

1. 地域資源を活かした観光コンテンツの提供により、県内の隅々まで観光客が訪れる観光地を目指します。
2. 地域経済の活性化に向け、地域を支える基幹産業である観光産業の持続的な発展を目指します。
3. 観光客の受入基盤整備を強化し、質の高いサービスの提供により、何度も訪れたい観光地を目指します。
4. 宮城でしか経験できない価値を効果的かつ積極的に情報発信し、国内外から訪れたい観光地を目指します。

2 数値目標

数値目標については、第5期プランで定めた3つの指標（宿泊観光客数、外国人観光客宿泊者数、観光消費額）を継続的にモニタリングするとともに、宿泊観光客数については、圏域ごとに令和元年水準までの回復に差が生じていることから、圏域ごとの目標値を設定しました。

また、観光消費額の増加に向け、「質」の向上を意識するために、新たに観光消費額単価を追加しました。

	目標指標	実績値	実績値	第6期プラン目標値	把握方法
		令和元年	令和5年	令和9年	
①	宿泊観光客数	989 万人泊	943 万人泊	1,104 万人泊	宮城県「観光統計概要」
	仙南圏域	71 万人泊	63 万人泊	75 万人泊	
	仙台圏域	742 万人泊	727 万人泊	830 万人泊	
	大崎圏域	77 万人泊	54 万人泊	87 万人泊	
	栗原圏域	11 万人泊	9 万人泊	11 万人泊	
	登米圏域	9 万人泊	8 万人泊	9 万人泊	
	石巻圏域	38 万人泊	42 万人泊	44 万人泊	
	気仙沼・本吉圏域	42 万人泊	40 万人泊	48 万人泊	
②	外国人観光客宿泊者数	53.4 万人泊	51.5 万人泊	120 万人泊	観光庁「宿泊旅行統計調査」
③	観光消費額	3,989 億円	3,985 億円	6,000 億円	宮城県「観光統計概要」
④	観光消費額単価(日本人)	22,710 円/人	26,640 円/人	33,000 円/人	観光庁「旅行・観光消費動向調査」
	観光消費額単価(外国人)	54,526 円/人	71,768 円/人	90,000 円/人	観光庁「インバウンド消費動向調査」

3 観光成果指標

数値目標のほかに、観光成果指標を設定し、本県の観光を巡る現状を多角的に分析・評価するとともに、毎年度、観光施策の見直し・改善を行い、効果的な施策立案につなげます。

観光は災害等の環境変化等に影響を受けやすいことに加え、観光施策の効果が速やかに現れるものだけではなく、効果が発現するまで時間がかかるものもあることから、観光成果指標は、継続的にモニタリングするとともに、時宜に応じた見直しを行います。

観光客の視点							
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移
		年/年度		年/年度		年/年度	
① 観光客入込数	4,495 万人	R3	5,724 万人	R4	6,824 万人	R5	
② 外国人観光客の平均泊数 (仙台空港から入国)	4.9 泊	R1	— 泊	R4	5.2 泊	R5	
③ 居住地別宿泊観光客数 (中部以西)	278,228 人 (8.7%)	R2	438,885 人 (10.4%)	R4	502,511 人 (10.4%)	R5	
④ 満足度 (魅力)	79.7%	R3 年度	76.6%	R4 年度	75.5%	R5 年度	
⑤ 満足度 (二次交通)	62.8%	R3 年度	60.1%	R4 年度	57.9%	R5 年度	
⑥ リピーター率 (2 回以上の来訪)	82.1%	R3 年度	81.4%	R4 年度	82.1%	R5 年度	
⑦ 再来訪意向	90.4%	R3 年度	90.1%	R4 年度	87.6%	R5 年度	
⑧ 観光地としての推奨度	73.3%	R3 年度	73.3%	R4 年度	72.6%	R5 年度	
⑨ 訪問経験	59.9%	R3 年度	59.4%	R4 年度	59.1%	R5 年度	
⑩ 教育旅行宿泊状況	56,453 人	R2	107,746 人	R4	131,864 人	R5	
⑪ 民泊者数	6,315 人	R3	10,013 人	R4	15,330 人	R5	

県民の視点							
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移
		年/年度		年/年度		年/年度	
① 県内旅行の経験 (過去3年間)	62.4%	R3 年度	48.4%	R4 年度	49.4%	R5 年度	
② 県民の出国者数	9,376 人	R2	2 人	R4	22,576 人	R5	

県民の視点								
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移	
		年/年度		年/年度		年/年度		
③	満足度（二次交通）	39.4%	R3 年度	34.0%	R4 年度	26.8%	R5 年度	
④	満足度 （ホスピタリティ）	47.0%	R3 年度	33.0%	R4 年度	34.6%	R5 年度	
⑤	外国人観光客に対する受入意向	66.8%	R3 年度	68.6%	R4 年度	70.4%	R5 年度	
⑥	サステナブルツーリズムに対する認知度	—		11.4%	R4 年度	8.8%	R5 年度	

観光産業の視点								
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移	
		年/年度		年/年度		年/年度		
①	県内総生産（宿泊・飲食サービス業）	2,179 億円	R1 年度	1,293 億円	R3 年度	1,581 億円	R4 年度	
②	訪日外国人旅行消費額	440 億円	R1	— 億円	R4	353 億円	R5	
③	雇用誘発数	24,298 人	R2	40,946 人	R4	52,292 人	R5	
④	宿泊施設数 （旅館業）	1,028 件	R2 年度	1,000 件	R4 年度	1,014 件	R5 年度	
⑤	MICE開催数 （コンベンション）	232 件	R2 年度	1,339 件	R4 年度	1,588 件	R5 年度	
⑥	映画・テレビ等のロケーション撮影誘致数	32 件	R3 年度	31 件	R4 年度	35 件	R5 年度	
⑦	ワーケーション協議会参加数	150 団体	R3	157 団体	R5	157 団体	R6	

観光産業の視点

観光成果指標		初期値		前回		現況値		経年変化
			年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
①	国・県指定文化財件数	391 件	R3	394 件	R5	398 件	R6	
②	震災伝承施設数	134 施設	R4	137 施設	R5	162 施設	R6	
③	ボランティアガイド団体数	58 団体	R3	57 団体	R6	57 団体	R7	
④	通訳案内士数	148 人	R4	152 人	R6	155 人	R7	
⑤	教育旅行体験プログラム数 (うち SDGs・探究学習) (うち震災・防災・減災学習)	293 件 (62 件) (40 件)	R4	356 件 (120 件) (48 件)	R6	359 件 (116 件) (48 件)	R7	
⑥	コンサート開催数 (グランディ 21)	25 件	R3 年度	31 件	R5 年度	35 件	R6 年度	
⑦	デジタル化取組状況 (全産業)	32.7 %	R4	40.0 %	R5	48.0 %	R6	
⑧	県公式サイトインバウンドコンテンツ数	797 件	R4 年度	932 件	R5 年度	932 件	R6 年度	
⑨	SDGs 未来都市選定数	3 件	R3 年度	4 件	R5 年度	4 件	R6 年度	
⑩	自然公園等環境整備件数 (工事件数)	10 件	R3 年度	13 件	R5 年度	11 件	R6 年度	
⑪	仙台空港定期便運航数 (国内線)	9 路線 49 往復 / 日	R4	8 路線 51 往復 / 日	R6	8 路線 51 往復 / 日	R7	
	うち中部以西の空港発着数	8 路線 35 往復 / 日		7 路線 36 往復 / 日		7 路線 36 往復 / 日		
⑫	仙台空港定期便運航数 (国際線)	0 路線 0 往復/週	R4	4 路線 28 往復/週	R6	5 路線 37 往復/週	R7	
⑬	農泊推進団体数	25 団体	R3 年度	26 団体	R5 年度	26 団体	R6 年度	
⑭	食材王国みやぎ地産地消推進店登録数	429 施設	R3 年度	519 施設	R5 年度	529 施設	R5 年度	

観光産業の視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
⑮ 心のバリアフリー認定施設数 (宿泊施設)	4 件	R4	17 件	R6	49 件	R7	
⑯ みやぎの食べきりモデル店舗認定数 (宿泊施設)	2 件	R4	3 件	R6	3 件	R7	

マネジメントの視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
① 教育旅行マッチング件数（国内）	84 件	R3 年度	113 件	R5 年度	174 件	R6 年度	
② 有識者・地域の事業者からの意見聴取回数	16 回	R3 年度	10 回	R5 年度	32 回	R6 年度	
③ 市町村観光計画の策定数	14 件	R4	14 件	R6	14 件	R7	
④ 市町村観光協会の設置数（宮城県観光連盟会員）	25 団体	R4	25 団体	R6	25 団体	R7	
⑤ DMO登録数	5 団体	R4	5 団体	R6	7 団体	R7	
⑥ 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数	1 地域	R5	1 地域	R6	1 地域	R7	

第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組

1 令和7年度の基本的方針

(1) 現状認識

令和5年の県内の観光客入込数は、6,824万人となり、前年に比べ1,100万人(+19.2%)増加し、コロナ拡大前の令和元年の6,796万人を上回り、過去最高の観光客入込数を記録しました。また、宿泊観光客数は、943万人泊と前年に比べ165万人泊(+21.2%)の大幅の増加となり、コロナ拡大前の水準と同程度に回復しております。

令和5年は、1月に仙台国際空港国際線の定期便再開、5月には、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、訪日旅行者の増加や国内観光客の移動が活発化したことなどの社会的な背景に加え、宿泊需要喚起策として全国旅行支援を実施したことにより、観光需要の大幅な回復につながりました。将来の誘客拡大の礎となる宿泊施設や観光施設に対する改修支援、訪日教育旅行促進に係る覚書の締結、県内5コース目となる宮城オルレ村田コースの開設などを行い、誘客拡大に向けた取組を進めてきました。

一方、圏域別の宿泊観光客数では、令和元年比で約7、8割の回復にとどまっている圏域があることに加え、インバウンド需要は東京、大阪、京都などの三大都市圏に集中しているなど、地域偏在の傾向が顕著となっております。

県としては、人口減少社会における持続可能な観光地域づくりを目指すために、消費額単価が高く、滞在期間が長いインバウンドの誘客拡大に加え、県内旅行の長期滞在化を目指した取組を進めていく必要があると考えております。

(2) 取組の方向性

県では、令和7年度以降の観光戦略の基本計画として第6期プランを策定し、ポストコロナにおける新しいみやぎの観光として、これまで以上に地域の観光に光を当てるため、行政機関、観光事業者、住民、観光客等の多様な主体が一体となって、持続可能な観光地域づくりを推進していくこととしました。

施策の推進に当たっては、3つの視点として、視点①インバウンド需要・宿泊需要の積極的な取り込み、視点②持続可能な観光の推進、視点③デジタル技術の積極的な活用を定めたほか、施策の柱となる4つの観光戦略プロジェクトを定め、体系的に施策を立案・実施していきます。

第6期プランの1年目となる令和7年度は、「戦略1 魅力ある観光資源の創出」として、国内旅行の下支えとなる教育旅行誘致促進や、夜間の消費促進につながるナイトタイムコンテンツの充実などを図るとともに、「戦略2 観光産業の活性化」として、宿泊業の人手不足解消に向けた人材確保支援やガイド人材育成など、観光人材の育成・確保を進めていきます。

また、「戦略3 観光客の受入環境整備の充実」として、快適なトレッキング環境整備に向けた自然公園施設の整備のほか、「戦略4 国内外との交流拡大の促進」として、トレッキングの国際会議であるアジア・トレイルズ・カンファレンスの開催を通して、宮城オルレをはじめとした宮城県の魅力を発信するほか、欧米豪の市場開拓に向け、東北観光推進機構や東北各県と連携のうえ、欧州市場へのプロモーションを強化するなど、更なるインバウンドの誘客拡大を図っていきます。

これらの取組を安定的に実施し、更に強化していくためには、一般財源等の既存財源のほか、国庫補助金の積極的な活用や、第6期プラン期間中に導入予定の宿泊税を効果的に活用する必要があります。宿泊税の活用施策の検討に当たっては、みやぎ観光振興会議や新たに設置する宿泊事業者部会を通して、市町村や観光事業者との意見交換や情報共有を行い、地域の実情を踏まえた効果的な施策を実施できるように、関係者全員参加型で持続可能な観光地を目指します。

2 観光戦略プロジェクト

本県の観光が目指すべき姿の実現に向けて、基本理念である「地域が主役となる持続可能な観光地域づくりを通じた“All-round”な観光地の実現」に向け、次の4つの戦略に基づき、体系的に施策を立案・実施していきます。

(1) 観光戦略プロジェクトの概要

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略1 魅力ある観光 資源の創出	(1) 地域色を活かした観光コンテンツの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活用した観光コンテンツの発掘・磨き上げにより、市町村ごとの独自色を活かした観光地域づくりに取り組みます。 ○各地域が有する食、自然、伝統、季節等の魅力をテーマに応じて、有機的に連携した広域的なモデルルートを作成するなど、県全体の周遊向上を図ります。 ○観光需要の波を平準化し、通年観光を目指すために、閑散期（特に、観光客入込数が減少するグリーンシーズン、冬期）における観光コンテンツの造成を推進します。 ○宿泊者数の増加や消費額の高い「夜の滞在」を促すために、ナイトタイムコンテンツの造成を推進します。
	(2) みやぎの「食」、「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ①みやぎの「食」 <ul style="list-style-type: none"> ○「食材王国みやぎ」が誇る食材の魅力発信や地産地消の推進に向け、生産者や食産業関連事業者等の連携を促進します。 ○観光客への訴求力を高めるため、食や食文化に関わる人、ストーリー性を意識したコンテンツを作成し、食を活かした周遊・滞在型観光を推進します。 ○食に携わる観光関連事業者が外国人旅行者の食の多様性を理解する機運を醸成するとともに、ハラール対応飲食店等の情報など、旅行者が安心して滞在できるよう食の情報発信を強化します。 ②みやぎの「自然」の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ○宮城オルレの新規コース開設に合わせて、アジア・欧米諸国など、世界中のトレイルファンを誘客し、県内全域における周遊・長期滞在を促進します。 ○宮城オルレやみちのく潮風トレイル等のトレッキングコースをはじめとしたみやぎの自然を満喫できるアウトドアコンテンツの更なる利用促進・普及拡大を推進します。 ○SUP、サーフィン等自然や風景を活かしたアクティビティコンテンツの充実を図り、アドベンチャーツーリズムを推進します。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略1 魅力ある観光 資源の創出	(2) みやぎの 「食」、「自然」、 「歴史・文化・ 芸術」の魅力向 上	<p>③みやぎの「歴史・文化・芸術」の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生等が地域の歴史や伝統文化・芸能などを学ぶ機会を創出し、地域の魅力を発信できる人材の育成やシビックプライドの醸成を図ります。 ○歴史・文化資源の創建記念事業などのイベントを契機として、地域の核となる観光コンテンツを造成し、県内外に魅力を発信します。 ○みやぎ応援ポケモンプラスを活用した周遊施策に加え、漫画やアニメの聖地巡礼などのアニメツーリズムを推進します。 ○映画やアニメ等のロケ地や舞台の誘致推進に向け、関係団体との連携を強化します。
	(3) 東日本大 震災の記憶・教 訓の伝承	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外からの教育旅行の体験コンテンツとして、震災・防災・減災学習をテーマとしたプログラムの造成支援・情報発信を行うなど、本県ならではの教育旅行体験プログラムの充実を図り、教育旅行の誘致を促進します。 ○被災地の復興状況、復興に向けた取組や震災伝承施設の紹介をはじめ、震災を経験した語り部活動を通して、東日本大震災の記憶と教訓を後世に伝承するとともに、国内外に広く発信します。
	(4) DMOの 体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくりの司令塔となるDMOが展開する創意工夫ある取組を支援します。 ○地域活性化の手段として、既存 DMO との役割を整理の上、DMO の新規登録を推進します。 ○地域連携DMOである（公社）宮城県観光連盟が中心となり、関係団体や他DMOとの調整機能を担い、広域連携を進めます。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略2 観光産業の活性化	(1) 人手不足対策	<p>○人材の効果的な配置やサービス水準の向上を目的として、業務効率化に向けた省人化・省力化設備の積極的な導入を支援します。</p> <p>○宿泊業の人材・人手不足に対応するため、学生や転職希望者等を対象に、宿泊施設とのマッチング機会を創出するとともに、従業員の定着促進やスキルアップを支援します。</p> <p>○宿泊業における外国人材受入れを促進するために、人材ニーズに応じた支援を行います。</p>
	(2) 観光人材の育成・確保	<p>○中小企業等において DX を推進する中核人材向けの研修を実施するほか、実務担当者向けの実践的・専門的研修を実施します。</p> <p>○インバウンドの誘客拡大を図るため、県内の全国通訳案内士やボランティアガイドのほか、学生や留学生等を対象としたセミナーや模擬ツアーを開催するなど、ガイド人材の育成・確保を推進します。</p> <p>○高等学校や大学等での出前授業等の機会を活用し、観光の意義や観光産業が地域の基幹産業であることの理解醸成を促進します。</p>
	(3) 新たな旅のスタイルへの対応強化	<p>○グリーンツーリズムの観点から、農林水産業等の関連産業との連携等を通して、体験型プログラムの充実を図ります。</p> <p>○県内でのワークスペース情報を積極的に発信するとともに、事業者や旅行者などからのニーズを踏まえ、ワーケーションやデジタルノマドなどの需要取り込みを図ります。</p> <p>○関係団体と連携した MICE の誘致活動強化や、プレジャーの普及を図ります。</p>

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略3 観光客受入環境整備の充実	(1) 観光地・観光産業の高付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地全体の魅力アップにつなげるために、ライトアップ、植樹や廃屋撤去等による景観整備を推進します。 ○滞在型観光の受け皿となる宿泊施設の高付加価値化やDX化を推進します。
	(2) インバウンド受入環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○滞在期間中の利便性向上に向け、キャッシュレス決済や無料公衆無線LAN等の整備を推進します。 ○観光案内板の多言語化や、飲食、宿泊施設等のメニューの多言語化を推進します。 ○災害等の緊急時における避難情報の提供などにより、外国人観光客の安全・安心な旅行環境の確保を図ります。
	(3) ユニバーサルツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設や宿泊施設などのハード面や移動手段となる公共交通機関でのユニバーサルデザインを推進します。 ○バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の更なる普及拡大を図ります。
	(4) オーバーツーリズム対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地内での自家用車以外の移動手段の確保により、道路渋滞の緩和を図ります。 ○観光地内の駐車場や観光施設の混雑状況を可視化し、情報発信することにより混雑の平準化を図ります。
	(5) 交通アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○主要駅等と県内観光地を結ぶシャトルバスの運行や乗合タクシーの運行に加え、レンタカーの活用を促進するなど、観光地までの円滑な移動を推進します。 ○観光地内での移動手段として、レンタサイクルに加え、電動キックボード等、ラストワンマイル対策を推進します。
	(6) 安全・安心な自然公園施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客の安全な利用に配慮した登山道や遊歩道の整備を推進します。 ○自然公園内の公衆トイレの洋式化やレストハウスの通信環境の改善を推進します。
	(7) 地域住民の「おもてなし」意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○県民向けの観光に対する意識調査を行うとともに、観光振興による地域経済や雇用に対する効果を周知することにより、観光の重要性を再認識し、観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ります。 ○旅行者に対して、日本のマナー・文化・風習への理解を促し、滞在期間中の満足度向上を図るとともに、地域住民の生活に配慮した旅行を推進します。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略4 国内外との交流拡大の促進	(1) デジタルマーケティングの推進	<p>○県内旅行者へのアンケート調査や、県民・県外客へのWEBアンケート調査を通して、旅行者の属性、旅行目的等を把握し、データに基づいた政策の立案を行います。</p> <p>○東北観光DMP(Data Management Platform: データ マネジメントプラットフォーム)を活用し、動態データ等を基に、来訪者の周遊促進を図る取組を推進します。</p>
	(2) 戦略的な観光プロモーションの強化	<p>○海外新規市場の開拓に向け、趣味やテーマ性が高い目的に絞ったSIT(特定目的型旅行)に特化した海外旅行会社とのマッチング商談会の開催等により、市場別の誘客を強化します。</p> <p>○首都圏からの誘客拡大を目指し、羽田空港や成田空港を利用した訪日外国人旅行者に対してのプロモーションを推進します。</p> <p>○外国人向けポータルサイト「Visit MIYAGI」について、市場分析に基づき、掲載記事の充実を図ります。</p>
	(3) 市町村、関係団体等と連携したプロモーションの強化	<p>○東北観光推進機構が運営するWEBサイト旅東北を活用し、広域周遊モデルルート、観光スポットや体験型コンテンツなどのプロモーションを推進します。</p> <p>○東北観光推進機構や東北各県と連携し、現地旅行会社、インフルエンサー招請に加え、大阪・関西万博への共同出展により、東北一体となったPRを展開します。</p> <p>○仙台市と連携し、仙台・宮城へのインバウンドの誘客拡大に向けたプロモーションを推進します。</p>
	(4) ツーウェイツーリズムの推進	<p>○教育旅行において重要視される相互交流を促進し、将来の継続的なインバウンド拡大を図るため、国内外からの教育旅行の誘致や県内学校の海外教育旅行を推進します。</p> <p>○海外市場の分析を行い、相手国と相互にSITを実施することにより、双方向の交流拡大につなげます。</p> <p>○若年層の海外旅行促進を図るため、パスポート取得を推進します。</p> <p>○国外で人気のあるアウトドアコンテンツを契機とした相互交流を推進します。</p>
	(5) スポーツツーリズムの推進	<p>○プロスポーツのホームゲーム開催時に観光プロモーションを行うなど、プロスポーツと連携した誘客施策を推進します。</p> <p>○県内のスポーツ施設等を活用し、学生スポーツの大会や合宿誘致を推進します。</p> <p>○アウトドアスポットを活用し、国際競技大会等の大規模なスポーツ大会の誘致を推進します。</p>

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略4 国内外との交流拡大の促進	(6) ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治体や経済団体等と緊密に連携し、新規路線の就航・寄港に向けた誘致強化及び受入体制の構築を図ります。 ○周遊観光を促すために、空港・港湾を起点とし、周辺の観光資源と連携した周遊プランの造成を推進します。 ○空港や港湾内における多言語観光案内や Wi-Fi 通信環境の確保など、宮城・東北のゲートウェイとして旅行者が利用しやすい受入環境の確保を図ります。

(2) 観光戦略プロジェクトごとの具体的な取組

戦略プロジェクト	戦略1 魅力ある観光資源の創出
	(1) 地域色を活かした観光コンテンツの創出
	(2) みやぎの「食」、「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上
	(3) 東日本大震災の記憶・教訓の伝承
	(4) DMOの体制強化
数値目標	宿泊観光客数(圏域別)
主な観光成果指標	観光客入込数、観光地としての推奨度、教育旅行マッチング件数(国内)、DMO登録数
施策展開の視点(令和7年度)	
<p>◆観光需要の平準化に向け、閑散期(グリーンシーズン、冬期)や夜間などの時間軸を意識した取組を行います。</p> <p>◆地域資源の活用を含めたその地域でしか体験できないコンテンツの造成などを通して、県内周遊の促進に向けた取組を行います</p>	
主な事業(令和7年度)	
<p>■観光地域づくりチャレンジ事業【観光戦略課】(30,000千円) みやぎ観光戦略プランに基づき、地方振興事務所と地域の事業者が一体となって、交流人口や関係人口の創出・拡大に向けた観光地域づくりを実施します。</p> <p>■ナイトタイムコンテンツ創出事業【観光戦略課】(30,000千円) 観光客の県内周遊や長期滞在につなげ、ナイトタイムエコノミーによる観光消費の拡大を図るため、多賀城政庁跡等を会場としたライトアップ等によるナイトタイムイベントを実施します。</p> <p>■教育旅行誘致促進事業【観光戦略課】(89,000千円) 将来の交流人口拡大に繋がる国内外からの教育旅行の誘致を促進するため、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターを運営し、国内外の学校と観光事業者等とのマッチングを支援するほか、国内外の学校に対するバス借上げ経費の助成や、国内外の校長等を対象とした招請を実施するとともに、国内外での説明会を開催し、教育旅行誘致を強力に推進します。</p> <p>■フィルムコミッション推進事業【観光戦略課】(89,000千円) 映画、テレビ等を通じて我が県の魅力を発信し、我が県の知名度向上と誘客強化を図るため、せんだい宮城フィルムコミッションに参画し、映画、テレビ等の撮影のロケーション誘致、支援等を行います。</p> <p>■宮城オルレ推進事業【観光戦略課】(79,200千円) 韓国済州島発祥のトレッキング「オルレ」の宮城県版「宮城オルレ」のコースを県内各地で整備し、魅力あるコンテンツとして磨き上げ、国内外からの誘客促進・交流人口の拡大を図ります。</p>	

主な事業(令和7年度)

■観光地域づくりチャレンジ事業【観光戦略課】(30,000千円)

みやぎ観光戦略プランに基づき、地方振興事務所と地域の事業者が一体となって、交流人口や関係人口の創出・拡大に向けた観光地域づくりを実施します。

■みやぎ蔵王ブランド推進事業【大河原地方振興事務所】(1,162千円)

仙南地域の「食と観光のブランド化」を目的とした産業振興と広域観光推進を図るため、「みやぎ蔵王三十六景」「みやぎ蔵王温泉郷」等を活用した観光振興策を、管内市町・関係機関・DMO・周辺観光圏との連携により展開します。

■仙台圏域内観光周遊促進・満足度向上事業～仙台圏域ぐるっと周って満足旅～

【仙台地方振興事務所】(2,287千円)

持続可能な観光地域づくりと観光客誘引を推進するために、仙台圏域が一体となった観光周遊促進のためにスタンプラリーを実施するとともに、観光人材育成に向けた観光研修会を実施します。

■最上・雄勝・大崎三県連携交流事業【北部地方振興事務所】(923千円)

大崎地域と山形県最上地域・秋田県雄勝地域との県境を越えた広域的な取組として、三地域間で情報発信や観光PR等を実施します。

■くりはらマルシェ開催事業【北部地方振興事務所栗原地域事務所】(非予算)

栗原地域の物産品のPR販売と合わせて観光PRを実施し、栗原地域への誘客促進を図ります。

■持続可能な石巻圏域の新たな観光資源発掘事業【東部地方振興事務所】(2,000千円)

震災からの復興が進んだ石巻圏域の新たな観光資源をあなご、ほや雑煮、石巻せり鍋等の「食」やみちのくGOLD浪漫に認定された金華山、世界の持続可能な観光地Top100に認定された東松島市等の視点から再発見し、更なる関係人口・交流人口の拡大を目指します。

■誘客促進事業【東部地方振興事務所登米地域事務所】(1,021千円)

各種イベント等の開催や、登米地域の農泊施設等について、近隣地域と連携した継続的なフォローアップ支援等により、体験型コンテンツの掘り起こし・磨き上げを行い、誘客促進を図ります。

■地域資源を活用したアウトドアアクティビティ観光推進事業【東部地方振興事務所】

(1,450千円)

アウトドアコンテンツに取り組む当圏域の観光プレイヤーとの連携のもと、当該コンテンツへの誘客と、その魅力発信のため、アウトドアアクティビティを体験するイベントを開催します。

戦略プロジェクト	戦略2 観光産業の活性化
	(1) 人手不足対策
	(2) 観光人材の育成・確保
	(3) 新たな旅のスタイルへの対応強化
数値目標	宿泊観光客数、観光消費額、観光消費額単価
主な観光成果指標	県内総生産、宿泊施設数、デジタル化取組状況、MICE開催数
施策展開の視点(令和7年度)	
<p>◆宿泊施設の稼働率向上に向け、宿泊業における人材不足解消への支援を行うとともに、事業者の生産性向上を図るため、デジタル技術の導入支援などを行います。</p> <p>◆観光地におけるおもてなし力向上に向け、ガイド人材をはじめとした観光人材の育成に取り組めます。</p> <p>◆個人旅行の増加など旅行形態の多様化を踏まえ、ビジネス需要、体験型観光需要などの多様な旅行ニーズを積極的に取り込みます。</p>	
主な事業(令和7年度)	
<p>■観光人材育成・確保支援事業【観光戦略課】(5,850千円) 旅館、ホテル等における人材確保のため、宿泊施設での実習を通じた人材育成やマッチングを支援するほか、観光産業の持続的成長に向けて、学生、留学生等を対象とした勉強会やフィールドワークの実施により、通訳ガイドの育成を支援します。</p> <p>■中小企業等再起支援事業【中小企業支援室】(110,000千円) 原油価格・物価高騰の影響によって業績が悪化し、経営の維持向上に支障をきたしている中小企業・小規模事業者が、早期の再起を図るために行う、販路開拓や生産性向上等の取組を支援します。</p> <p>■中小企業等再起支援事業【中小企業支援室】(220,000千円) 生産性向上等を目的とした県内中小企業等のデジタル化の取組について、アドバイザー派遣及び導入経費の補助を行い、デジタル化の推進を図ります。</p> <p>■産業デジタル化支援事業【産業デジタル推進課】(31,777千円) セミナーを通じてデジタル化に向けた意識の底上げを図るとともに、中小企業等におけるデジタル人材育成支援としてデジタルリテラシー向上やDX推進プラン策定に向けた研修の他、実践的・専門的分野に特化した研修等を実施します。</p> <p>■MICE(国際会議等)の誘致推進事業【観光戦略課】(1,957千円) 多くの外国人を一時に招致できるMICE(国際会議等)の誘致を積極的に実施し、高い経済波及効果を生み出すため、専門のスタッフを抱え誘致事業に精通した団体への補助を行います。</p> <p>■宮城ワーケーション情報環境整備推進事業【観光戦略課】(1,316千円) 宮城におけるワーケーションの一層の普及促進を図るため、県内のワーケーション施設等の情報を一元化したポータルサイトを構築し、効果的な情報発信を行います。</p>	

戦略プロジェクト	戦略3 観光客受入環境整備の充実
	(1) 観光地・観光産業の高付加価値化
	(2) インバウンド受入環境整備の推進
	(3) ユニバーサルツーリズムの推進
	(4) オーバーツーリズム対策の推進
	(5) 交通アクセスの充実
	(6) 安全・安心な自然公園施設等の整備
	(7) 地域住民の「おもてなし」意識の醸成
数値目標	宿泊観光客数、外国人宿泊観光客数、観光消費額単価
主な観光成果指標	観光地満足度（魅力、二次交通）、リピーター率（2回以上の来訪）、再来訪意向、外国人観光客に対する受入意向、自然公園等環境整備件数（工事件数）
施策展開の視点(令和7年度)	
<p>◆旅行者満足度の向上を図るため、観光案内の多言語化、無料公衆無線LAN、キャッシュレス決済、トイレの様式化など、多様な旅行者が安心して楽しめるバリアフリーな環境整備を行うとともに、おもてなし態勢の向上を図ります。</p> <p>◆周遊性の向上により地域全体に消費効果を波及させるために、観光地間や観光地内での移動手段を確保し、観光地における消費機会を創出します。</p>	
主な事業(令和7年度)	
<p>■小規模宿泊施設普及拡大事業【観光戦略課】(7,070千円) 外国人観光客をはじめとする多様な宿泊ニーズに対応するため、小規模宿泊施設の新規開業者や既存事業者を対象にしたセミナーの開催や、小規模宿泊施設等の施設整備等に対して助成します。</p> <p>■無料公衆無線LAN運用事業【デジタルみやぎ推進課】(8,130千円) 県内を訪れる観光客の利便性を高めるため、本県独自のSSIDによる無料公衆無線LAN「みやぎFreeWi-Fi」を県有施設に整備するとともに、県内民間事業者や他自治体等への導入拡大を図ります。</p> <p>■多文化共生推進事業【国際政策課】(7,015千円) 外国人県民や観光客が県内で安心して滞在できる環境整備に向け、外国人相談センターを設置します。</p> <p>■みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業【観光戦略課】(157,610千円) 観光客の利便性と安全な利用等に配慮した自然公園施設の老朽化対策等を行うほか、広域観光案内板や東北自然歩道の案内標識等の再整備を進めます。</p> <p>■宮城マスター検定事業【富県宮城推進室】(1,024千円) ご当地検定の形式を用いて、宮城の特産品、観光地、イベント等産業関係の情報を中心に広く県内外にPRすることにより、宮城県地域資源、産業全般に関する認知度を高めるとともに、地域産業の活性化を図ります。</p> <p>■みやぎエコ推進バス運行補助事業【観光戦略課】(750千円) 観光地の保全を図りながら、エコに関する県民意識の向上を促すため、エコの視点を取り入れ、観光地における循環バス・シャトルバスの運行事業などに対する助成を行います。</p>	

戦略プロジェクト	戦略4 国内外との交流拡大の促進
	(1) デジタルマーケティングの推進
	(2) 戦略的な観光プロモーションの強化
	(3) 市町村、関係団体等と連携したプロモーションの強化
	(4) ツーウェイツーリズムの推進
	(5) スポーツツーリズムの推進
	(6) ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進
数値目標	宿泊観光客数、外国人宿泊観光客数
主な観光成果指標	居住地別宿泊観光客数、訪問経験、県民の出国者数、訪日外国人旅行消費額、仙台空港定期便運航数（国内線、国際線）
施策展開の視点(令和7年度)	
<p>◆観光消費額単価が高く、滞在日数が長い欧米豪を誘客ターゲットとして、市場別の分析を行うとともに、モニターツアーや商談会の開催などにより、海外市場の新規開拓を進めます。</p> <p>◆本県のインバウンドの大半を占めるアジア圏の底上げを図るために、アジア・トレイルズ・カンファレンスを開催し、宮城オルレをはじめとした宮城県の魅力発信を行うほか、仙台空港からの直行便を活用した県内学校の海外教育旅行や訪日教育旅行の拡大を図り、ツーウェイツーリズムを推進します。</p> <p>◆大阪・関西万博を宮城・東北をPRする絶好の機会として捉え、東北観光推進機構や東北各県などと連携した広域プロモーションを行います。</p>	
主な事業(令和7年度)	
<p>■ツーウェイツーリズム推進事業【観光戦略課】(7,900千円)</p> <p>若年層の海外との交流機会を創出して国際相互理解力を向上させるとともに、海外との交流拡大を通じて、空港路線の維持・拡大を図り、インバウンドの更なる誘客拡大につなげるため、県内の中学校、高等学校等が実施する海外教育旅行費用に対して助成します。</p>	
<p>■アジア・トレイルズ・カンファレンス開催事業【観光戦略課】(70,000千円)</p> <p>台湾、韓国などATNアジア・トレイルズ・ネットワーク参加国・地域のほか、WTNワールド・トレイルズ・ネットワーク参加諸国のトレイル愛好家が参集するアジア・トレイルズ・カンファレンスを、宮城オルレ新規コースオープンに合わせて開催し、本県の観光コンテンツの魅力を発信し、更なる認知度向上と誘客促進を図ります。</p>	
<p>■みやぎ観光デジタルプロモーション事業【観光戦略課】(21,000千円)</p> <p>インバウンド回復のため、デジタルを活用し、旅行者の需要に合わせたプロモーションを実施するとともに、その結果を踏まえたインバウンド施策展開に繋がります。</p>	
<p>■欧州市場インバウンド促進事業【観光戦略課】(67,000千円)</p> <p>フランスを中心とした欧州市場の長期滞在・高付加価値マーケットに対し、東北の持つ自然、歴史、食の魅力の認知・定着を図るため、インバウンド需要の取り込みが十分ではない東北への誘客を、東北観光推進機構、新潟県を含む東北各県及び仙台市と連携し強力に展開します。</p>	
<p>■仙台空港地域連携・活性化事業【空港臨空地域課】(30,000千円)</p> <p>若者等を対象にした航空券取得費用や、全世代を対象としたパスポート取得費用の一部を助成するキャンペーンを実施し、アウトバウンド促進など仙台空港の利用拡大を図ります。</p>	

3 具体的な取組

第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業】

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																	
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4					
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)
1	観光戦略課	観光地域づくりチャレンジ事業	みやぎ観光戦略プランに基づき、地方振興事務所と地域の事業者が一体となって、交流人口や関係人口の創出・拡大に向けた観光地域づくりを実施する。	●	●	●	●	●	●															
2	観光戦略課	風評被害等観光客実態調査事業	東京電力福島第一原子力発電所事故による風評被害の実態把握や今後の観光施策を検討する上での基礎資料とするため、観光客へのアンケート調査等を行う。	●	●	●													●					
3	観光戦略課	MICE(国際会議等)の誘致推進事業	多くの外国人を一時に招致できるMICE(国際会議等)の誘致を積極的に実施し、高い経済波及効果を生み出すため、専門のスタッフを抱え誘致事業に精通した団体への補助を行う。	●	●	●				●														
4	観光戦略課	みやぎ観光振興会議運営事業	観光関係事業者等と意見交換の場を設定し、観光施策の推進を図る。	●	●	●	●	●	●														●	
5	観光戦略課	観光地周遊促進事業	観光地までの渋滞状況や、飲食店等の観光施設における混雑状況について、AIカメラ等を活用し、可視化するとともに、観光用のデジタルマップにより、観光施設情報と一体的に情報発信する。	●	●	●																	●	
6	観光戦略課	宮城ワーケーション情報環境整備推進事業	宮城におけるワーケーションの一層の普及促進を図るため、県内のワーケーション施設等の情報を一元化したポータルサイトを構築し、効果的な情報発信を行う。	●	●	●				●														
7	観光戦略課	東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化	大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北各県や東北観光推進機構等と連携し、東北が一体となった観光プロモーションの展開などの取組を行う。	●	●	●																	●	
8	観光戦略課	ナイトタイムコンテンツ創出事業	観光客の県内周遊や長期滞在につなげ、ナイトタイムエコノミーによる観光消費の拡大を図るため、多賀城政庁跡等を会場としたライトアップ等によるナイトタイムイベントを実施する。	●	●		●	●																
9	観光戦略課	教育旅行誘致促進事業	将来の交流人口拡大に繋がる国内外からの教育旅行の誘致を促進するため、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターを運営し、国内外の学校と観光事業者等とのマッチングを支援するほか、国内外の学校に対するバス借上げ経費の助成や、国内外の校長等を対象とした招請を実施するとともに、国内外での説明会を開催し、教育旅行誘致を強力に推進する。	●	●	●	●																	
10	観光戦略課	フィルムコミッション推進事業	映画、テレビ等を通じて我が県の魅力を発信し、我が県の知名度向上と誘客強化を図るため、せんだい宮城フィルムコミッションに参画し、映画、テレビ等の撮影のロケーション誘致、支援等を行う。	●	●	●	●																	
11	観光戦略課	みやぎエコ推進バス運行補助事業	観光地の保全を図りながら、エコに関する県民意識の向上を促すため、エコの視点を取り入れ、観光地における循環バス・シャトルバスの運行事業などに係る経費の補助を行う。	●	●	●																●	●	
12	観光戦略課	観光人材育成・確保支援事業	旅館、ホテル等における人材確保のため、宿泊施設での実習を通じた人材育成やマッチングを支援するほか、観光産業の持続的成長に向けて、学生、留学生等を対象とした勉強会やフィールドワークの実施により、通訳ガイドの育成を支援する。	●	●	●				●	●													
13	観光戦略課	小規模宿泊施設普及拡大事業	外国人観光客をはじめとする多様な宿泊ニーズに対応するため、小規模宿泊施設の新規開業者や既存事業者を対象にしたセミナーの開催や、小規模宿泊施設等の施設整備等に係る経費を支援する。	●	●	●																		
14	観光戦略課	ツーウェイツーリズム推進事業	若年層の海外との交流機会を創出して国際相互理解力を向上させるとともに、海外との交流拡大を通じて、空港路線の維持・拡大を図り、インバウンドの更なる誘客拡大につなげるため、県内の中学校、高等学校等が実施する海外教育旅行の経費を支援する。	●	●	●																		●

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																	
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4					
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)
15	観光戦略課	アジア・トレイルズ・カンファレンス開催事業	台湾、韓国などATNアジア・トレイルズ・ネットワーク参加国・地域のほか、WTNワールド・トレイルズ・ネットワーク参加諸国のトレイル愛好家が参集するアジア・トレイルズ・カンファレンスを、宮城オルレ新規コースオープンに合わせて開催し、本県の観光コンテンツの魅力を発信し、更なる認知度向上と誘客促進を図る。	●	●	●	●																	
16	観光戦略課	みやぎ観光デジタルプロモーション事業	インバウンド回復のため、デジタルを活用し、旅行者の需要に合わせたプロモーションを実施するとともに、その結果を踏まえたインバウンド施策展開に繋げる。	●	●	●												●	●					
17	観光戦略課	外国人観光客誘致促進事業	外国人観光客の誘客回復のため、トップセールスや旅行博出展等を実施するほか、台湾サポートデスク及び中国大連事務所を活用し、セールスコールや招請事業等を一体的に行う。併せて、各市場に対しSNSによる情報発信を一元的に実施する。	●	●	●	●											●	●	●				
18	観光戦略課	宮城オルレ推進事業	韓国済州島発祥のトレッキング「オルレ」の宮城県版「宮城オルレ」のコースを県内各地で整備し、魅力あるコンテンツとして磨き上げ、国内外からの誘客促進・交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●												●		●			
19	観光戦略課	山形県と連携した広域観光の推進事業	大都市圏や海外からの誘客を図るため、山形県と連携した観光プロモーションの展開などの取組を行う。	●	●	●	●												●					
20	観光戦略課	国際観光モデル地区観光施設整備事業	外国人観光客の誘客及び受入環境整備を図るため、栃木県、南東北3県及び県内市町村と連携し、観光プロモーションや看板整備などの取組を行う。	●	●	●					●											●		
21	観光戦略課	欧州市場インバウンド促進事業	フランスを中心とした欧州市場の長期滞在・高付加価値マーケットに対し、東北の持つ自然、歴史、食の魅力の認知・定着を図るため、インバウンド需要の取り込みが十分ではない東北への誘客を、東北観光推進機構、新潟県を含む東北各県及び仙台市と連携し強気に展開する。	●	●	●					●								●	●				
22	観光戦略課	観光誘客推進事業	県内市町村のほか、関係団体等と連携し、本県における観光資源を磨き上げ、魅力の向上を図るとともに誘客活動の実施により、幅広い層の観光客の確保を図る。	●	●	●	●	●														●		
23	観光戦略課	仙台・宮城おもてなし態勢向上事業	仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」を活用した本県観光のPR活動を実施し、県内への誘客を図る。	●	●	●																●		
24	観光戦略課	みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業	観光客の利便性と安全な利用等に配慮した自然公園施設の老朽化対策等を行うほか、広域観光案内板や東北自然歩道の案内標識等の再整備を進める。	●	●	●	●				●				●									
25	富県宮城推進室	宮城マスター検定事業	ご当地検定の形式を用いて、宮城の特産品、観光地、イベント等産業関係の情報を中心に広く県内外にPRすることにより、宮城県の地域資源、産業全般に関する認知度を高めるとともに、地域産業の活性化を図る。	●	●	●	●															●		
26	新産業振興課	みやぎの伝統的工芸品産業振興事業	国及び県指定の伝統的工芸品について、新商品開発や販路拡大等の支援を行い、伝統工芸産業の普及・振興を図るとともに、工芸品や各産地の魅力を情報発信する。	●	●	●	●																	
27	新産業振興課	放射光施設利用促進事業	令和6年4月から運用開始された、3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu(ナノテラス)の見学機会の創出や関係機関と連携した情報発信等を行う。	●	●	●	●																	
28	商工金融課	商工団体と連携した訪日外国人向けビジネスチャンス創出事業	増加する訪日外国人の需要を取り込み、地域経済の活性化を図るため、地域内で外国人の回遊・消費を促す取組や外国人の嗜好に合わせた商品開発など、ネットワークやノウハウ等を活かして地域事業者の商機創出を支援する商工団体に対して助成を行う。	●	●	●	●	●			●	●							●			●		
29	商工金融課	中小企業経営安定資金等貸付金	観光客の利便性の向上及び安全・安心の確保を図るため、中小企業者が観光施設の整備等を行う際に、“伊達な旅”整備促進資金の県制度融資により、資金融通の円滑と観光産業の振興を図る。	●	●	●					●	●	●									●		

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																	
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4					
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)
30	商工金融課	次世代型商店街形成支援事業	商店街のニーズや商店街を取り巻く環境の変化に適合した、次世代を見据えた持続的で発展的な商店街の構築を図るため、商店街団体等が行う商店街ビジョン形成及びビジョンに基づく課題解決の取組を支援する。	●	●	●	●																	
31	商工金融課	商店街NEXTリーダー創出事業	魅力ある商店街の形成を促進するため、先進事例等を学ぶセミナー、実践事業への補助及びネットワーク会議により、商店街活動の新たな担い手や中心人物の創出を支援する。	●	●	●	●																	
32	中小企業支援室	中小企業等再起支援事業	原油価格・物価高騰の影響によって業績が悪化し、経営の維持向上に支障をきたしている中小企業・小規模事業者が、早期の再起を図るために行う、販路開拓や生産性向上等の取組を支援する。	●	●	●			●															
33	中小企業支援室	中小企業等デジタル化支援事業	生産性向上等を目的とした県内中小企業等のデジタル化の取組について、アドバイザー派遣及び導入経費の補助を行い、デジタル化の推進を図る。	●	●	●			●															
34	雇用対策課	みやぎ地域活性化雇用創造プロジェクト事業	女性や高齢者等の潜在的労働力の掘り起こしから就職までをトータルかつきめ細かにサポートする雇用支援拠点の設置と県内企業の受入環境の整備支援を実施し、求人・求職側の双方から多様な人材の活躍を推進することで、企業の競争力の源泉である「人財」の確保を進め、富県宮城の実現を雇用政策面から支える。	●	●				●															
35	国際政策課	海外交流基盤強化事業	中国吉林省、米国デラウェア州等海外自治体等との関係を強化するため、訪問団の派遣や受入れを行い、本県のPR等を効果的に実施する。	●	●	●																		●
36	国際政策課	韓国市場におけるSIT観光客誘致促進事業	韓国を対象とした宮城・東北地方のインバウンド市場の回復を目指し、宮城・山形・岩手のキリスト教関連遺産を活用したSIT層向けの誘客活動を実施し、地域活性化と観光振興を図る。	●	●	●																		●
37	国際政策課	多文化共生推進事業	外国人相談センターの設置などを通じて外国人県民が地域で安心して生活できるような環境整備に取り組む。外国人相談センターは、観光客からの問合せ等にも対応。	●	●	●																		
38	国際政策課	外国人材活躍推進事業	外国人材の積極的な確保に向け、企業訪問ツアー等の開催により、企業と外国人材の交流機会を創出するなどし、マッチングを支援するとともに、外国人材の定着を図るため、キャリアアップを後押しするための企業補助や外国人材に対する感謝を伝えるイベントを開催する。	●	●	●	●																	
39	国際ビジネス推進室	県産食品海外ビジネスマッチングサポート事業	農林水産物の輸出に取り組む事業者のスタートアップから海外ビジネス展開の段階に応じて細やかな個別支援を実施するとともに、輸出に当たって課題となる物流面などの課題解決に向けたバリューチェーンのモデル構築により更なる輸出拡大を図るもの。	●	●	●	●																	
40	大阪事務所	「宮城・山形・福島」南東北三県観光展開催事業	南東北三県が連携して、地域の魅力を周知し、一層の誘客促進を図るため、大阪市内において観光PRを行う。	●	●	●																		● ●
41	大阪事務所	東北六県観光展開催事業	東北六県が連携し、東北の魅力等を積極的かつ集中的に提供することにより、一層の観光誘客の促進を図るため、観光案内、ポスター・パンフレットの掲示、民芸等の展示、DVD放映、ゆるキャラによるPR及び東北旅行・特産品プレゼントを行う。	●	●	●																		● ●
42	大河原地方振興事務所	みやぎ蔵王ブランド推進事業	仙南地域の「食と観光のブランド化」を目的とした産業振興と広域観光推進を図るため、「みやぎ蔵王三十六景」「みやぎ蔵王温泉郷」等を活用した観光振興策を、管内市町・関係機関・DMO・周辺観光圏との連携により展開するもの。 (1)食のブランド化事業 郷土料理やスイーツ、地域の逸品等の販売促進、PR (2)広域観光・食と物産情報の発信強化事業 SNSキャンペーンや管内ひな祭りイベントの一体的PR等 (3)みやぎ蔵王温泉郷振興事業 (4)みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	●	●	●	● ●																	● ●
43	大河原地方振興事務所	SNS等を活用した積極的な情報発信事業	令和3年度に開設した公式X、令和4年度に開設した公式Instagramをはじめ、ブログやFacebook等のSNSを活用し、仙南圏域の観光や食の魅力など、テーマやターゲットを絞り、戦略的に発信するもの。	●	●	●																		● ●

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																			
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4							
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
44	大河原地方振興事務所	3県(宮城・山形・福島)連携広域周遊促進事業	東北中央道の開通等により、南東北3県(宮城・山形・山形置賜・福島県北)の交通アクセスが改善され、これまで以上に県境を越えた広域周遊の利便性が高まっていることから、各地域の魅力を多くの方に知ってもらい、3県の相互交流を促進するため、各地域のアドベンチャーツーリズムとスイーツを切り口とした周遊企画を実施するもの。	●			●	●																		
45	大河原地方振興事務所	仙南地域観光人材育成事業	仙南地域の観光を担う人材育成を目的として、地域の観光に関わる官・民、業種を超えた実務者層を中心に、次世代の観光人材を育成するもの。	●				●	●									●								
46	大河原地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会の事務局として、関係市町や観光関係団体等と連携し、地域の豊富で多様な観光資源を広くPRし、より多くの観光客の誘致の実現するとともに、観光を活かした地域振興を推進する。 ・特別企画「ご当地キャラクターを探せ！」(夏) ・独自企画 秋冬周遊企画 ・「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」との連携事業	●	●	●	●	●																●		
47	仙台地方振興事務所	仙山交流連携促進事業	文化面・交通面での結びつきが強い宮城県仙台地域及び山形県村山地域合同の特産品販売会等を支援するとともに、両地域の魅力を発信することで、両地域の相互交流をさらに深める。	●	●	●	●	●											●					●	●	
48	仙台地方振興事務所	仙台圏域内観光周遊促進・満足度向上事業～仙台圏域ぐるっと周って満足旅～	持続可能な観光地域づくりと観光客誘引を推進するために、仙台圏域が一体となった観光周遊促進のためにスタンプラリーを実施するとともに、観光人材育成に向けた観光研修会を実施する。	●			●	●																●	●	
49	仙台地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会の事務局として、関係市町村等と連携・協働しながら、圏域観光の推進を図る。	●	●	●	●	●																●	●	●
50	北部地方振興事務所	最上・雄勝・大崎三県連携交流事業	大崎地域と山形県最上地域・秋田県雄勝地域との県境を越えた広域的な取組として、三地域合同で情報発信や観光PR等を実施する。	●	●	●	●	●																	●	
51	北部地方振興事務所	SNSによる観光情報発信事業	国内・海外からの誘客促進を図るため大崎地域等の観光地の魅力をSNS(Youtube、Facebook、Instagram)を活用し情報発信する。	●	●	●	●	●																	●	
52	北部地方振興事務所	地域食材魅力発信事業	大崎地域のイベントである「おおさき食楽まつり」において、来場者に対して地域食材の魅力を発信し消費拡大に繋げるもの。また、大崎地域の農産物直売所等取材し、FacebookやInstagram等で情報発信する。	●	●	●	●	●																		
53	北部地方振興事務所	バーチャルトリップサイトによる観光情報発信事業	海外からの誘客促進を図るため、大崎管内の観光地を360°映像等で紹介するバーチャルトリップサイト「アイラブオオサキ」で国内外に発信する。	●	●	●	●	●																	●	
54	北部地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県北地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県北地域部会の事務局として、関係市町や観光関係団体等と連携しながら、地域あるいは地域を越えて連携した観光施策を主体的に実現させ、地域の活性化に資するための継続した観光の仕組みづくりを行う。	●	●	●	●	●																		
55	北部地方振興事務所	おおさき魅力発見事業	県内の小中高生を対象に、大崎地域でガイド体験会を実施するもの。大崎地域の魅力を体感しながら、興味を抱いた観光コンテンツの説明ができるようにすることで、参加者やその家族、受入れ地域のシビックプライドの醸成につなげるもの。	●	●	●	●	●																	●	
56	北部地方振興事務所	観光のデジタル化促進事業	大崎地域の観光関係団体及び事業者等を対象に、SNS活用による情報発信など、受入側のデジタル化を促進するための研修を行うもの。	●	●	●	●	●																		

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																	
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4					
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)
86	自然保護課	湿地環境保全・利活用事業	多種多様な生物が生息する淡水湖沼の生態系を有していた伊豆沼・内沼への再生を目指し、沈水植物や在来生物を増加させるための自然再生事業を実施するとともに、ワイズユースの推進及び普及啓発のため、ラムサール条約湿地の魅力を発信し、自然との触れ合いによる環境教育の場の整備を図る。	●			●	●																
87	自然保護課	サンクチュアリーセンター管理事業	伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター及び伊豆沼周辺の公有地管理運営。	●	●	●	●	●																
88	消費生活・文化課	「東北文化の日」推進事業	東北全体の文化力の発揮を目指すとともに文化施設を基点として圏域内外の交流人口の拡大を図るため、東北6県及び仙台市が一体となり東北圏域の特色ある文化資源の情報を総合的に発信する。	●	●	●	●																	
89	消費生活・文化課	文化観光拠点施設機能強化事業	宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)拠点計画に基づき、石巻エリアの文化観光を推進する中核拠点として、文化資源の魅力増進や利便増進、飲食・販売との連携の促進等の機能強化を行う。	●	●	●	●																	
90	食産業振興課	みやぎの食材バリューチェーン展開プロジェクト	今後、県内で生産拡大が見込まれている農産物に対して、一次加工や事業者間による対応を促進するとともに、マーケティングに基づいた商品開発から食材王国みやぎのブランドイメージの浸透を踏まえた販路開拓の支援まで、食産業の各段階における付加価値を高めることにより、食のバリューチェーンを展開する。	●	●	●	●																	
91	食産業振興課	地域イメージ確立推進事業	多彩で豊富な「食」を創出する県という地域イメージの確立のため、知事等によるトップセールスやSNSを活用した宮城の食材に関する情報発信を行う。	●	●	●	●																	
92	食産業振興課	食育・地産地消推進事業	食育、地産地消を通じた県産農林水産物の販路拡大のため、地産地消推進店と連携した県産農林水産物のPR、高校生を対象とした「お弁当コンテスト」、小・中学生を対象とした「伝え人派遣事業」による食育を推進する。	●	●	●	●																	
93	食産業振興課	物産展等開催事業	県外主要都市の百貨店で物産展を開催し、県産品の販売及び観光情報の発信を行う。	●	●	●	●																	
94	食産業振興課	県産品デジタルマーケティング展開支援事業	急速に進むEC市場への対応を加速的に進めるため、ECサイトへの参入を促すとともに、宮城旬鮮探訪やECモール内特集ページ及びECアンテナショップ型店舗で得られたデータを事業者へフィードバックすることで商品開発等につなげ、事業者の自立的成長を目指す。	●	●		●																	
95	食産業振興課	首都圏等における「県産品が売れる仕組みづくり」販路拡大支援事業	リアルとデジタルの双方のメリットを活かした県産品の新たな露出機会を創出するため、商品の試飲試食後にその場やECサイトから購入できるOMO物産展・常設コーナーを開催・展開し、観光情報の発信も併せて実施する。	●	●		●																	
96	農山漁村なりわい課	むらまち交流拡大推進事業	農山漁村と都市の交流活動を推進するため、地域の受入体制づくりと交流活動に向けた広報や情報発信を行う。また、広域ネットワーク組織を設置し、地域間の連携を強化する。	●			●	●																
97	農山漁村なりわい課	農泊地域の周遊ビジネスモデル事業	農泊地域間の広域連携モデル地区を設定し、重点的に支援を行うことで周遊性の向上と滞在時間の長期化により収益性の向上を図り、持続可能な農泊ビジネスの仕組みづくりを図る。	●	●	●	●	●			●	●												
98	森林整備課	マツ林景観保全事業	松くい虫等による被害からマツ林の景観保全を図るため、被害跡地への抵抗性マツの植栽、島しょ部へのドローンによる種子配合物の投下や予防対策を実施するとともに、被害処理木を搬出するなど景観の保全対策を実施する。	●			●																	
99	道路課	交通安全事業	サイクルツーリズムのモデルルートとして沿岸部を巡る「震災復興・伝承みやぎルート」を設定し、走行環境及び受入環境の整備を行うもの。	●	●	●	●																	
100	港湾課	クルーズ船受入促進事業	国内外からの誘客を図るため、仙台塩釜港へのクルーズ船の誘致活動を行うとともに、寄港時の受入対応(おもてなし)を行う。	●	●	●										●								●

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																		
							戦略1				戦略2			戦略3						戦略4					
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
15	石巻市	観光PR事業	観光資源を広くPRするイベント出展の実施のほか、SNS等を活用したフォト&動画コンテストを開催し、新たな視点での観光プロモーションを行う。また、「せんだい・宮城フィルムコミッション」と連携し、映像製作への協力とロケ地となった本市の魅力を発信する。	●	●	●	●	●	●											●	●	●			
16	石巻市	RPG活用推進事業	石巻市の歴史や文化、観光施設等、地域の魅力を詰め込んだRPGアプリを活用し、地域愛の醸成、交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●													●					
17	石巻市	SAVOR JAPAN(セイバージャパン)活用推進事業	農水省のセイバージャパン認定を受けた地域伝統食「ほや雑煮」を活用し交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●	●													●	●			
18	石巻市	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」活用推進事業	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に追加認定された「金華山道」、「金華山詣」を市内他観光資源と連携させて活用するとともに、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会と連携した取組みにより、地域活性化、交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●													●	●			
19	石巻市	伝統技術継承支援、伝統産業育成支援事業	雄勝硯や鯨歯工芸品の技術継承、後継者の育成を支援すると共に、文房四宝まつりを開催する。	●	●	●	●	●														●			
20	石巻市	地産地消推進、食を活用した事業	豊富な地場産品や石巻市独自の食文化等(鯨食、ほや雑煮等)を広くPRし、地産地消の推進、交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●	●													●	●			
21	石巻市	観光大使活用事業	石巻に縁のある著名人を観光大使に任命し、本市のイメージアップ、PRを行う。	●	●	●																●			
22	石巻市	サイクルツーリズム推進事業	ツールド東北やサイクルイベントの開催、レンタサイクル、サイクルステーションの整備によりサイクリストに選ばれる地域を目指す。	●	●	●																	●	●	
23	石巻市	地域活性化企業人活用事業	民間企業から観光人材を受け入れ、観光施策、特に着地型観光の推進を図るための地域戦略の策定のほか、観光コンテンツの再発見と既存コンテンツの磨き上げ及び石巻圏観光推進機構(DMO)指導育成を行う。	●	●	●	●	●														●	●		
24	石巻市	金華山航路定期運航支援事業	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に「金華山道」と「金華山詣」が追加認定され、金華山への観光客の増加が見込まれる。事業者に対し支援を実施し、鮎川港から金華山への定期船の安定的な運航を確保することで、交流人口の拡大を図る。	●	●	●																			
25	塩竈市	観光プロモーション事業	本市の魅力を様々な手段を通じ発信し、モニターツアー等により市内回遊性向上と観光ルートの定番化(ブランディング)を行うことで、交流人口を図る。	●	●	●	●	●														●	●		
26	気仙沼市	気仙沼観光推進機構補助金	気仙沼観光推進機構が掲げる重点事業を遂行するため、役割を担う構成団体に対し補助金を交付する。 ＜重点事業＞ ・インバウンド強化 ・国内市場強化 ・データに基づく「観光地経営」に向けた体制構築 ・宮城オルレ事業の推進 ・観光サービスセンターの運営 ・事業者育成・経営支援	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	●
27	気仙沼市	観光キャラクタープロモーション事業	観光キャラクター「海の子ホヤぼーや」を活用した気仙沼のPRの強化及び誘客、物販棟による地域活性化を図るため、首都圏でのステージパフォーマンスの実施やフォトスポットの設置、デザインの拡充、ファンイベント等を実施する。	●	●	●	●															●	●		
28	気仙沼市	観光受け入れ態勢整備事業	JR等公共交通機関を利用して訪れる観光客の利便性向上のため、関係団体等が連携してタクシークーポン券の実施や徳仙丈山シャトルバスの運行、レンタサイクル事業を実施する。	●	●	●																	●	●	

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																		
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4						
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
115	大衡村	おおひらふるさと祭り開催事業	夏に開催していた「おおひら万葉まつり」と秋に開催していた「おおひらふるさと祭り」を一本化し、地域の一体感を創出し、伝統的な文化を継承しながら新たな文化創造を目足手村民等の各部門・各団体が一致協力し合い、大衡村における新たな「おおひらふるさと祭り」を開催し、誘客を図る。	●	●	●	●																		
116	大衡村	地場産品振興事業	各種イベント等へ出展し、地場産品のPR・拡販を行うと共に観光PRを行う。	●	●	●																			
117	色麻町	交流人口増加事業	令和4年度、令和5年度の中で提案された、『色麻の最終目的地』プロジェクトにおける特定の場所にとられない市場(マルシェ)を開催し、交流人口の増加やにぎわいの創出を図ることを目的として実施する。	●	●	●	●	●																	
118	涌谷町	「金」のストーリーでつながる広域連携推進事業	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を旗印に、金の歴史を共有する構成市町(涌谷町・南三陸町・気仙沼市・平泉町・陸前高田市・石巻市)との連携を推進し、国内外からの誘客を図る。	●	●	●	●	●																	
119	加美町	モンベルアウトドア振興事業	モンベルアフレンドタウンとして、アウトドアランド形成事業を推進する。	●	●	●	●	●																	
120	加美町	国際ビジネス推進事業	加美町へのインバウンド誘客に向けた取組み(旅行博出展や商談会への出席等)、インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成を推進する。	●	●	●	●	●																	
121	美里町	物産観光振興事業	町の魅力向上と地域経済の活性化に寄与することを目的に、町の物産販売、魅力PR、総合案内所運営、催事開催等を行う。	●	●	●	●	●																	
122	女川町	おながわ四季のまつり補助事業	女川町の四季折々の魅力をPRするイベントを開催することにより、町の活性化及び観光客の誘致を図る。	●	●	●	●	●																	
123	女川町	観光誘致事業	町の観光施策に則り、町内外のイベントへの参加によるPR活動や情報発信を行い、観光客誘致を推進する。	●	●	●	●	●																	
124	女川町	(一社)石巻圏観光推進機構運営事業	石巻圏域の観光振興を目的として設立された(一社)石巻圏観光連携機構の運営に係る運営費の一部を負担する。	●	●	●	●	●																	
125	女川町	サイクルツーリズム推進事業(ツール・ド・東北)	サイクルツーリズム文化の醸成を図り、(一社)ツール・ド・東北が主催するサイクリングイベントについて共催し、大会費用の一部を負担する。	●	●	●																			
126	女川町	バイクツーリズム推進事業	多くの訪客があるバイクツーリング客のうち富裕層をターゲットとし、町内滞在時間を増加させる取組を図り、町内消費額増加による地域経済活性を目指す。	●	●	●	●	●																	
127	女川町	ビジターバス等整備事業	全国からのポートやヨットを受け入れることにより、町内での交流・活動人口の増加やまちなにぎわいの創出等を目的として、ビジターバス(浮棧橋)を整備する。	●																					
128	女川町	海岸広場指定管理事業	海岸広場の設置目的である、多面的な交流による町の活性化を図るべく効率的な管理を行うため、指定管理者制度による管理を行う。	●	●	●																			
129	女川町	マッシュパークイベント事業	若年層・子育て世代を対象とし、(株)マッシュホールディングス及び(株)グロープライドとの共催にてイベントを実施する。	●	●	●	●	●																	

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略																		
							戦略1				戦略2			戦略3					戦略4						
				R7	R8	R9	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
130	南三陸町	教育旅行誘致促進事業	地域資源の活用と、地域人材の起用による受入実績の拡大を図ることを目的に、受入体制整備・人材育成・プログラムの開発・誘致営業活動を行う。	●	●	●	●																		
131	南三陸町	地域プロモーション事業	地域資源を活かしたプロモーションを展開するため、南三陸ポータルサイトの管理運営、SNS等を活用した情報発信、各種イベントでのPRなどを継続的に実施し、交流人口及び観光消費額の回復を図る。	●	●	●	●	●	●																
132	南三陸町	地域観光案内所運営事業	地域情報の集約と来訪のお客様へのご案内を通し、域内での周遊または滞在時間の延伸を図ることを目的に、常設の案内所の開設・運営を行う。	●	●	●																			●
133	南三陸町	訪日外国人誘致体制整備事業	本町の地域資源を活かした外国人誘致体制を整備するため、台湾を中心とした誘致営業活動、定期的な情報発信等を実施することにより、受入実績の拡大を図る。	●	●	●	●	●	●																
134	南三陸町	ブルーツーリズム推進事業	宿泊客の拡大(回復)と域内での滞在時間の延伸を図ることを目的に、教育旅行を主とした旅行商品の磨き上げを行うと共に、海水浴場(サンオーレそではま)で「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」を目指しブルーフラッグ認証の取得に向けた活動を推進する。 また、食と観光を結びつけ、食材の産地と観光客を食の力で繋げる消費・販路拡大プロモーションを行い、更なる誘客を図る。	●	●	●	●	●																	
135	南三陸町	スポーツ文化ツーリズム推進事業	地域が保有する文化スポーツ施設・宿泊施設等を活用し、地域経済の活性化を目的に、滞在型のスポーツ合宿、勉強合宿、音楽合宿等の受入れの強化・推進を図る。	●	●	●																			●
136	南三陸町	道の駅誘客プロモーション事業	幅広い地域への周知とコアユーザー獲得のため、道の駅公式ホームページへのバナー広告及び道の駅情報誌への掲載を行う。 また、新たに制作したラーニングプログラムを活用し、教育旅行先への誘客促進に繋げる。 一方で訪日外国人の利用客も増加傾向にあることから、展示バナー及び映像作品の翻訳業務を実施し、訪日外国人の誘客促進に繋げる。	●	●	●	●	●	●																●

